

はじめに

「熟議 2016 in 兵庫大学」報告書の刊行にあたって

兵庫大学・兵庫大学短期大学部
学長 河野 真

2012年に文部科学省と共催で熟議を開催して以来、今年の「熟議 2016 in 兵庫大学」は5回目の開催となりました。

兵庫大学における「熟議」とは、熟慮と議論を併せた言葉で、市民自らが地域の課題解決について多世代で熟慮し、議論をすることを目指しています。また、熟議のすすめ方として、第1回目（2012年）開催の「熟議」以降、①熟慮、②議論、③共有、④振り返り、⑤活動の5つの段階を踏む「兵庫大学熟議手法」を採用しており、今年度は、①熟慮の段階でテーマである「防災、減災」についての事前講演を全参加者に実施し、テーマについての知識を身につけたうえで、当日に臨んでいただきました。

さて、「熟議 2016 in 兵庫大学」は、「今、大地震が加古川地域を襲ったら？」をテーマにしています。南海トラフ巨大地震の予測が話題になるなど、日本全国、どこで地震が発生しても不思議ではありません。この加古川の地で、大地震が発生することを想定して、平時の今、私たち一人ひとりができることについて、共に考える機会としました。

熟議当日前半では、大地震について「防災」「発災」「復旧」「復興」という4つに分け、各フェーズで起こる事象を考え、事前に何を準備すればよいのか、減災のためのアイデアなどを出し合いました。後半では、それらを実現させるための具体的な方法を話し合い、グループごとに企画書にまとめました。また、交流会を行ない、加古川市総務部危機管理室から、地震発生直後に役立つ知恵として、ロープを用いた固定の方法など実践的な内容についてもご紹介いただきました。熟議の閉会時には参加者に「修了証書」を届けることができ、当日の様子を写真でご覧いただける工夫も行ないました。今回の熟議の成果を、本報告書からお読み取りいただければ幸いです。

最後に、本熟議に参加していただいたみなさまに深くお礼申し上げます。メインファシリテーターとして熟議の時間管理、進行をお引き受けいただいたNPO法人シミズシーズの柏木登起さま、事前学習のためにご講演をいただきました兵庫県立大学防災教育研究センターの紅谷昇平准教授及び宮本匠講師、ご多用の中、当日お越しいただいた岡田加古川市長、加古川市総務部危機管理室の岡本課長、地域の名物、銘菓をご提供いただきました地元企業様、各グループのファシリテーターとして事前研修に励み、当日のワークショップ運営にご尽力いただいた学生諸君、熟議実施にいたるまでの諸準備と報告書作成にご尽力いただいた熟議プロジェクトチームのみなさま、すべての関係者のみなさまに感謝申し上げます。